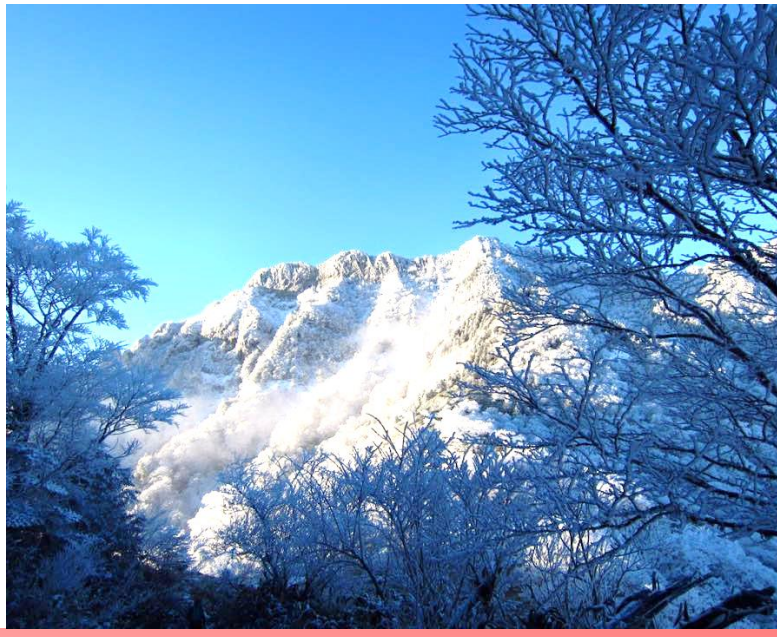
SAIJO LIONS CLUB

おかげさまで 55th 西条

ありがとう



2015 - 2016
No.464

ライオンズクラブ国際協会 336－A地区２R－４Z

西条ライオンズクラブ会報誌 2 月号

新年第一例会　清祓いの儀　於～石鎚神社

SAIJO LIONS CLUB

2015-2016 年度　ライオンズクラブ国際協会会長　　山　田　實　紘

テーマ　「Dignity•Harmony•Humanity（命の尊厳と和）

～奉仕を通じて～

2015-2016 年度ライオンズクラブ国際協会 336-A 地区ガバナー　　橋　本　充　好

スローガン　「感謝」「感動」「感激」の気持ち、　心で　We　Serve

キーワード　「　入魂　」

2015-2016 年度　２Ｒ４Ｚ　西条ライオンズクラブ会長　　高　橋　　学

スローガン　「繋げよう明日へ「ありがとう」の心　WE SERVE」

キーワード　「　未来　」

西条ライオンズクラブ事務局が移転しました

≪新住所≫

〒793－0027

愛媛県西条市朔日市 779－8 西条商工会館３Ｆ

※電話番号、ＦＡＸ番号、メルアド等は変わりません

お年賀を迎えられた方　卒寿(数え年 90 才)・・・今岡徳次郎様（S 2.　2.23 生）
傘寿(数え年 80 才)・・・村上　修蔵様（S 12. 9. 5 生）
古稀(数え年 70 才)・・・瀬川　大秀様（S 22. 6.26 生）
日吉　洋二様（S 22. 9. 2 生）

本厄（昭和 50 年生まれ　数え年 42 才）　・・・・日野　　求様（S 50.10.26 生）

年男（申年生まれ）　・・・・松浦　　裕様（S 19. 4. 8 生）
・・・・植木　光夫様（S 43. 1.19 生）
・・・・曽我部克正様（S 43.12.28 生）

2016年 お年賀を 迎えるに あたり

≪古稀を迎えて≫　日吉洋二

古稀だと言われ、「え～？！俺が？本当？」ってな感じでいつの間にか７０歳目前・ゴルフのスコアはだんだん落ちて１００目前。何と寂しいものですね。
まあ、歳はしょうがないことだし、今まで無事にやって来られたことに感謝して、これからの人生、できるだけ元気で楽しく生きていこうと思います。

≪歳男（としおとこ）を迎えて≫　松浦　裕

今年４月８日で満７２歳を迎える。生まれた時も年男というのならば今回で７回目の年男ということになる。私は戦時下の昭和１９年に生を受けたものの、韓国からの引き上げ船の苦労や終戦後の食糧事情の悪さなどから「この子はまともに育たないのでは？」と両親にも思われていたことを考えればよくも今まで大過なく生きてこられたと思わずにはいられない。尤も上を見れば傘寿や卒寿を迎えられた先輩諸兄も居られるし、ライオンズ以外に目を向ければ各界で活躍している高齢者（？）も数多く居て、自分などが年寄り顔をするのも面はゆいことではあるが、ひとつの区切りとしての感慨にふけっているところである。今後の人生プランとしてできることなら少しでも長く現役を続けて８回目、９回目の年男を迎えたいと年頭にあたって思っているところです。

≪４２の厄祓い≫　日野　求

去る１月１２日石鎚神社にて西条ライオンズクラブの清祓いの儀が行われ、同時にライオンズのメンバーに囲まれながら私の厄祓いをしていただきました。昭和５０年生まれが４２の本厄を迎える年になり、降りかかる厄をどう落とそうかと思案していたところ、このような場を作っていただき大変ありがたく思います。
厄年といえば、昔からの生活の知恵で、体質や好みなどが変わる時期だそうです。
大好きなビールからワインに、朝食米派からパン食派に変わるのでしょうか。
また、溜まった生活習慣病が顕在化する時期でもあるそうです。先日の血液検査ではガンマＧＴＰ以外は正常値でした。これからもビールの飲みすぎには気をつけ、年内には人間ドックに入って全身を調べてもらおうかなと他人事のように思っています。

第 1300 回記念例会

年末家族例会開催報告

出席計画委員　　瀬川寛清

日時　　２０１５年１２月２２日（火）１９：００～

会場　　西洋料理　Ｓｏｇａｂｅ

１２月第２例会、恒例となっております年末家族例会が「西洋料理　Ｓｏｇａｂｅ」にてメンバー、奥様、総勢４２名にて行なわれました。
今回の例会は、ちょうど「１３００回」という記念の例会にあたり、しかも伊藤幹事の誕生日当日という、おめでた尽くしの会となりました。
まず、高橋会長の挨拶があり、１２月１３日（日）に行なわれた結成５５周年記念式典の労いの言葉があり、「西条ライオンズらしい、素晴らしい式典であった」というお褒めの言葉を頂いたことを誇らしげに話されました。
続いて、新婚さんである太田夫妻による乾杯のご発声により、家族会が始まりました。
終始和やかな雰囲気で行なわれ、今回お越しいただいた８名の奥様方にご主人より花束の贈呈があり、夫婦仲の良さを皆に見せつけられていました。
その後、１３００回を記念して大きなケーキが用意され、執行部によるケーキ入刀があり、切り分けられたケーキを美味しくいただきました。
　最後に、大抽選会があり全員に商品が当たり、和気藹々の中で楽しい時間を過ごすことが出来ました。出席・計画委員会の最後の事業であり、皆様に楽しんでいただけたか心配しておりましたが皆様の笑顔を見て安心しました。今回参加していただき、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。
最後は、恒例の「また会う日まで」を徳増ライオン指揮の下、引き続き行なわれる結成５５周年記念行事、事業、来る年への期待を込め、輪になって大合唱し楽しい家族例会が終わりました。

◇◆◇　クリスマスムード満点の中、会場いっぱいに愛が溢れました◆◇◆

新婚の太田夫妻に負けず劣らず
日頃の感謝の気持ちを、花束に込めて
思い思いのプロポーズで・・・
奥様方もニッコリ

2015-2016 年度冬期ＹＣＥ派遣事業を体験して

派遣生氏名　　日野健太（Peru－２）
派 遣 期 間　　2015 年 12 月 24 日～2016 年 1 月 9 日
派　遣　先　　ペルー
ホストクラブ　　336－Ａ　２Ｒ－４Ｚ　西条ライオンズクラブ

日本を出て２２時間、２４日の現地の１１時に到着した。伊丹から成田、成田からヒューストン、ヒューストンからペルー、とても長いフライトだった。言葉も通じないところへ一人で行くという不安もあったが、睡眠不足の方が勝っていたことが逆にありがたかった。
改札を抜けるとホストファミリーのハンスが笑顔で出迎えてくれた。早速の試練である。
英語圏だと思っていたがペルーはスペイン語が主な言葉で言葉が全く通じない。車の中でも無言の空間が・・・ハンスが多少英語を話すことができたので片言の英語で会話。自宅に到着。立派な家である。部屋に通してもらい、やっと横になれた。その日はぐっすり眠れそうだと思っていた。
しかし、温かいホストファミリーのみんなは自分が家に着いたのが 0 時を回っていたのにも関わらず、それからご飯を作ってくれて歓迎してくれた。ホストマザーからはクリスマスプレゼントにニット帽・マフラー・カバンなどをいただいた。

ホストファミリーの父親はアメリカで仕事をしているようで、現地ペルーでも、飲食店と雑貨店を営んでいる。わりと裕福な家庭なのだろうと推測した。翌朝から、豪快な食事がスタートだ。
クリスマスということもあり、一日中パーティーだった。とても楽しい雰囲気で多くの親戚の人達も集まってきた。明るい国民性なのだと思う。言葉が分からなくてもすぐに仲良くなれて楽しい時間を過ごせた。特にハンスとは気が合い、いろんなところへ連れて行ってくれた。

■　思い出の場所

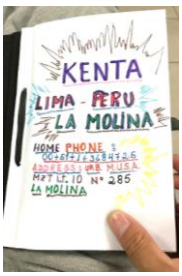
それから毎日のようにたくさんの場所に連れて行ってもらった。僕が退屈にならないように朝早くから夜の遅くまで、とても濃い毎日を過ごした。多少、朝が早すぎてもう少し寝させて欲しいという気持ちも正直あったが、とても有意義な時間を過ごした。
ハンスの趣味がマウンテンバイクということで、滞在中の午前中は近くの山に行き、ハンスのマウンテンバイク友達と一緒に山を下るという、なかなかエキサイティングなことをしていた。

あっという間に一週間が過ぎ、年末がきた。ペルーではサッカーが何より人気のスポーツで、大晦日には昼間に 40 年続いているサッカーの試合に参加させてもらった。

みんなサッカーが上手でゴール前で待っているとパスをくれ、なんとか１ゴールきめることができた。正月を家以外で、ましてや日本以外で迎えるのは初めてであった。ペルーではどんな年越しをするのだろうと楽しみにしていた。やはりペルーの人はパーティーが大好きらしい。
日付が変わって１月１日になった途端、町中に花火があがり、街がとてもにぎわっていた。もちろんハンスの家でも盛大にパーティーが開かれ、日本で言うクラブミュージックを部屋中に流し、パーティーは朝までつづいた。

　そして、ラスト３日となった。ハンスから「マチュピチュへ行かないか」と提案され即答「行こう！」で決まった。ハンスの自宅から、飛行機・電車など乗り継いで、マチュピチュへ。絵はがきのような光景に見とれ、写真を撮りまくった。

マチュピチュ近辺は標高がとても高く、常に富士山の山頂くらいあるところだった。
僕は高山病になり、息が苦しくなり人生で初めての経験もした。鼻に管を通し、酸素をいれた。これもまた、良い思い出となった。
あっという間の 16 日間の滞在が過ぎ、お別れの時になった。寄せ書きをくれたり、温かい見送りをしてくれ、とても嬉しかった。世界に第二の故郷ができたようで、とても幸せな気持ちになった。



今回のライオンズクラブＹＣＥ事業という国際的な事業に参加できる機会が与えられたことに感謝するばかりだ。ペルーの人たちの人柄、文化、食、景観など初めての体験ができたことを、今後の仕事や人生に役立ててゆきたいと思う。このような貴重な体験をさせてくださった西条ライオンズクラブの皆さん、関係者の方々、そして心配をしながらも笑顔で送り出してくれた両親に感謝します。ありがとうございました。

伊予土居ライオンズクラブ結成４０周年記念大会に参加して　　伊藤　稔

平成２８年１月１６日土曜日の１３時から四国中央市のユーホールにおいて、伊予土居ライオンズクラブ結成４０周年記念大会が開催されました。私の自宅からも近いこともあり顔見知りの方も何人かおられお世話になった方々へ挨拶などできてよかったと思いました。式典は、イス席が、木の応接式の袖椅子で一度座って今度立ち上がる時に体格の良い方はお尻が抜けにくいという椅子でした。少々窮屈でしたが、西条ライオンズクラブ精神の「我慢我慢」で辛抱強く座っていました。式典が始まると何点か不思議なことに気が付きました。
ステージの国旗は、真ん中にありライオンズの国旗がなかったように思いました。また、市長挨拶が、４番目。いろいろな式典に未熟ながら出席させていただいて、これほど順番に悩むのかと難しい判断だなあと率直に思いました。しかしながら、手順の良さは、さすが４０周年を迎えられたクラブだなぁと感心致しました。何よりも講演会を企画したり誘致したりする仕事についている者としては、講演者が、櫻井よしこさんであったことが一番の感心事項でもありました。お話を聞いていると会長自ら会われ、その熱意と思いをお伝えしたこと。私も集客や有料公演の場合は、「売りつくす。満席にする。」このコンセプトは、会館運営する者にとって、命題であります。講演の最後に明治維新の五箇条の御誓文を説明され、「力強い日本を再生しなくては！」と思いました。何回聞いてもなるほど！と思わせるところは、長きにわたってジャーナリスト経験された方だけの豊富な知識だと思いました。大変ためになる講演会でした。また、伊予土居ライオンズクラブ結成４０周年記念大会おめでとうございました。では、最後に明治政府が、新しく発足するにあたって、明治天皇から示した基本方針を要約します。（五箇条の御誓文）

１．広く会議を開いて、すべての政治は人々の意見によって行われるようにしましょう。
２．上の者も下の者も心を一つに、国を治めていきましょう。
３．身分にかかわらずに、誰もが志を全うし、その意見を達成できるようにしましょう。
４．今までの悪しき習慣をやめて、国際社会に合った行動をしましょう。
５・新しい知識を世界から学び、天皇が国を治める基礎を築いていきましょう。

当時、明治天皇は、１６歳。由利公正が起草。福岡孝弟が修正。木戸孝允が編集。明治政府の指針。日本が近代的な立憲国家として発展していく方向が切り開かれました。また、御誓文とは、天皇が先祖・神々に誓ったもの。何度読み返しても「初心忘れるべからず。」の精神で頑張らねばと会場を後にしました。

編 集 後 記

まだまだ寒い日が続いていますが、2月４日は暦の上では立春、その前日は節分の日です。豆まきか、南南東を向き恵方巻の丸かぶりか、いい世の中になるよう祈念しながら、それぞれの選択を、ご家庭で楽しまれた事と思います。さて、高橋丸も折り返し地点をターンし、後半戦に向けてスタートしました。来月には恒例のクラブ主催の少年野球大会、保護者、子供達に大人気の別名「カレー食べ放題大会」も控えています。後半戦の我がクラブの全てのアクティビティが、成功裏に終わりますよう、恵方巻に祈りを込めながら、メンバー全員で力を合わせ頑張っていきましょう。

PR･応報委員　野間賢次郎

発行者　会　長　高橋　学
幹　事　伊藤　稔
ＰＲ・応報委員長　小野雅志
編集委員　盛實正人・越智英明・高橋雅顕・合田直司
日野克則・伊藤隆治・野間賢次郎

例会日　毎月　第２・第４火曜日（12：30～13：30）
例会場　西条商工会館
発　行　西条ライオンズクラブ事務局
印　刷　プリントワールド ONO

西条ライオンズクラブ
〒793－0027　愛媛県西条市朔日市７７９－８
西条商工会館３Ｆ
TEL(0897)56－3980
FAX(0897)56－9251
Ｅ－mail　saijo-lc@abeam.ocn.ne.jp
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ　http://saijo-lions.jp
facebook　http://facebook.com/saijo.lions/